

近日発売

聞けば納得の静音仕様！作動時の騒音を軽減！

静音低床エア式ガレージジャッキ

ALA-2MS/3MS

- 周辺環境に配慮した静かな作業を実現！
- ガレージジャッキ本体とエアポンプ構造を見直し、低騒音！
- 作動時の不快なポンプ音をカットし、メカニックの作業ストレスを軽減

※外観・仕様は予告なく変更になる可能性がございます。

音の違いを
聞き比べてください！

通常仕様
約87db
(無負荷時)

静音仕様
約66db
(無負荷時)

※ガレージジャッキ本体後方1m・高さ1mにて音量測定
※音量は測定する環境で変化します



実際に音を
聞いてみて下さい！
動画公開中！
<http://youtu.be/0PQSeKgjB>

能力
2t/3t

最低位
98mm

近日発売

ペアリングやエンジンヘッドなどの大きな洗浄物に対応

大型部品洗浄機

APW-2014A

- ジェット噴射でアーチを回転。モーターを使わず360度くまなく洗浄
- 温水タンクは大容量の280L
- 洗浄専用ポンプは電気容量3.7kwを採用。高効率洗浄が可能に

※外観・仕様は予告なく変更になる可能性がございます。



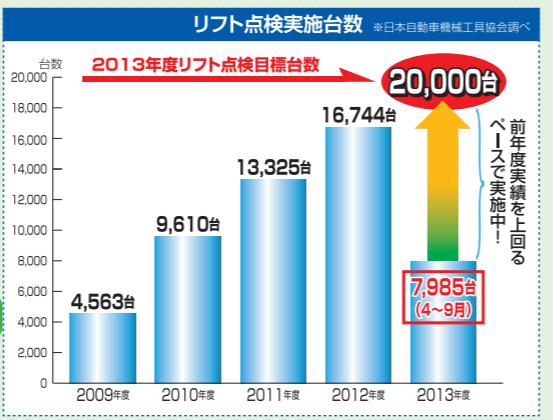
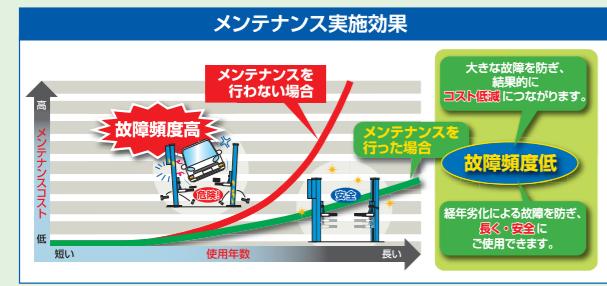
トピックス

リフト事故
撲滅を目指して

業界を挙げてリフト点検の啓発に注力！ 年に1度はプロによるリフト点検を行いましょう

リフト点検資格者制度の開始から5年。定期点検への理解が進み、点検を実施する整備事業者の数は年々目標を上回る勢いで増加しています。

リフト事故ゼロを目指し、年に1度はプロによるリフト点検を行いましょう！



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。
お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス（ボイスワープ）対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記までお気軽にどうぞ。

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。



自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS

95
ANZEN
SINCE 1918
SAFETY
交通報國95年
これからもお客様とともに

ANZEN

CHARGE

経営理念「交通報國」

商品（車検設備、設備機器）およびサービスの提供を通じて、お客様に喜んでいただき、そして、クルマの品質向上、交通安全、環境保全など、クルマ社会に貢献いたします。

95周年を新たなスタートと位置付け、 100周年に向けて前進

お客様の“信頼”、“ありがとう”をいただく活動を通じて、クルマ社会に貢献してまいります。

代表取締役社長 中谷 宗平



—新しい年を迎ました。昨年を振り返ってみていかがでしたか。

新年あけましておめでとうございます。昨年も多くのお客様よりご支援いただいたことに感謝申し上げます。昨年は、当社といしまして95周年を迎え、100周年に向けて大きな一步を踏み出す節目の年となりました。長い目で見れば、一つの区切りとして新たな変化が現れた、総体的に良い1年だったのではないかと思います。

しかしながら、弊社がお客様のご要望にすべて応えられていたかどうかを考えると、決してそうではなかったと感じております。

オートサービスショーで出展した商品の中でも昨年中に発売することができなかったものもありましたので、今年はそれらを含め、多くの新商品をご紹介していきたいと考えております。

—2014年についてどのような年になると想っていますか。景気動向を踏まえ、新年の抱負をお聞かせください。

あくまで個人的な意見ですが、国内経済は2020年の東京五輪を招致できたことから長期的には右肩上がりの経済状況が続くと見ております。しかしながら2014年は新車販売における消費税増税の影響と、東日本大震災をはじめとした自然災害やリーマンショックなどの影響により2009年、2011年の新車販売台数が減少したことから、総整備売上高の大きな柱となっている車検整備関連の売上がマイナスの影響を受けることが考えられます。これら二つのことからお客様の事業環境も短期的には厳しくなるのではないかと思われます。本年も、お客様の活動に少しでも貢献していくという気持ちを持って対応していくことを重視していきますし、それをどう実践していくかは、当社の経営理念「交通報國」であり、商品やサービスの提供を通じて、お客様に喜んでいただけるよう、行動力を持って示していきたいと考えております。

—その中で、安全自動車として重点的に取り組むことは。

「サービス」を軸としたお客様対応の強化です。引き続きサービスを切り口としたお客様へのアプローチに重点を置き、商品や企画の提案だけではなくサービスによるお客様への定期訪問やサービス提案活動に力を入れていく方針です。そのための人材育成にも力を入れていきますし、サービス人員も積極的に増員していきます。今後もお客様のお悩みを何でもご相談いただける存在になれるよう、社員一人ひとりの人間力を高めていくことに力を入れてまいります。

—最後にお客様、取引先の皆様に向けてメッセージをお願いします。

改めまして、新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございました。お客様におかれましては、これからもご指導ご鞭撻を賜り、ご期待に沿えるよう社員一同全力を注いでいく所存でございます。また取引先の皆様には、常日頃よりお世話になっておりますが、本年も何卒ご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

本年も皆様の益々のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。

株式会社 ホンダ四輪販売長岡上越店

新潟県上越市木田3-5-12
TEL 025-524-3410

いま注目!
のショップ訪問

■オープン日: 2013年11月9日(土)移転・新設オープン
■従業員数: 32名(うちサービススタッフ13名)
■店舗概要: 敷地面積4,700坪の広さと最新設備を兼ね備えたホンダカーズ長岡上越店。立地的に近距離にあつた旧新光町店と旧上越店を統合し、新たな上越店として生まれ変わりました。オープンイベントには2日間で約2,700名ものお客様が来場し、エリア最大級店舗としての注目度の高さが伺えます。そんな同店の保有母体は約5,400台、入庫目標は月間1,000台を掲げています。新設オープンを迎える期待を一手に引き受ける同店の、工場づくりのこだわりや今後の展望について伺いました。



本部 サービス部
部長代行 佐藤 恵弘様



上越店 工場長
大野 和則様



作業動線を明確に。あらゆる整備への対応力を高めたエリア最大級店舗

お客様への訴求力抜群! 広さのスケール

店舗に足を踏み入れて、まず驚くべきはその広さです。白を重視とし、自然光がたくさん差し込むショールームは、展示車両が4台並んでも十分に余裕を感じるほど広く、開放感に溢れています。待合スペースからは愛車の整備風景を眺めることができ、ご来店から引き渡しまで、すべての面において熟慮された新店舗は、多くのお客様を迎えるにふさわしい環境が整っています。

大型車整備工場さながらの規模を有するサービス工場は、検査ライン、整備ストール12ピット、洗車ストール2ピットを完備。ピット間隔を広く確保するだけでなく、「作業動線を明確にすることを重視した」と佐藤部長代行が語るように、工場が大型化してしまってもムダな動きが出ないよう、検査員室を工場の中央部に配置し、通路を中央に設けるなど、作業者目線に立ったレイアウトとなっています。

■店舗統合による入庫拡大を見据え、効率化機器を積極的に導入

検査ラインには、作業効率化、車検品質アップ、時間短縮など検査員の労力軽減化に寄与する“トータル車検ラインシステム ラインマスター”を導入しました。また、車検証のQRコードを読み込むだけで、軸重・車両重量、初度登録年月、型式を認識する“車検証QRコードリーダー”も合わせて導入しています。佐藤部長代行は「店舗統合により検査処理台数が増えてくることを考慮しますと、ヒューマンエラーを少しでもなくし、検査員の負担軽減につながればという思いがありました。支局でもQRコードを読み取って検査を行っていますし、時流にも合っていると思います」と、導入理由を語ってくださいました。



4WD車の入庫が多いため、設置がマストだった
“多輪フリーローラー”。“ラインマスター”で効率検査を実現。



検査員の確認作業における負担軽減を考え、
オプションの“車検証QRコードリーダー”を導入

10年後を見据え、進化する車両整備への対応を強化

数あるリフトの中からは、アルネオリフトを採用しました。プレート&アームタイプは主に車検点検とクイック整備に、アームタイプは重整

備で使い分けています。アームタイプは、車両下部の作業スペースを広く確保できるメリットがあり、EVの整備も見据え選定したことでした。また、重量のあるエンジン脱着作業の省力化を考え、天井にチェーンブロックを配置。エンジンクレーンとエンジンリフターも合わせて完備するなど、万全の設備が整っています。

HVやEV整備の展望については「設備もちろん大事ですが、作業するのは“人”ですから、整備する彼らにどのような教育をしていくかが実務上では大事ではないかと考えています」(佐藤部長代行)と、今後は人材育成にも力を入れていく方針です。



リフトは1台あたりのスペースを広く確保。メカニックは周囲を気にすることなくゆったりと作業が可能

環境に配慮した門型洗車機と下部洗浄装置で効率洗車

洗車ピットの他に、門型洗車機は節水効果の高い“ジスペクト”を導入。下部洗浄装置と連動し、下回りの効率洗浄が可能です。

「ここは降雪地域ですし、主要の幹線道路は凍結防止剤の散布が相当あるので、下回りが傷んでいるクルマをよく見ます。最近は1台あたりの乗車年数も伸び、長く愛用していただくことを考えますと下回り洗浄や、防錆処理の需要がさらに増していくと考えています」(大野工場長)。刻々と変化していく市場ニーズを的確にとらえ、あらゆる整備への対応力を高めた上越店。旧2店舗と同じ通り沿いに位置することから、既存のお客様にとっては来店しやすいロケーションもあります。恵まれた立地条件と、どんな整備にも対応できるサービス力を存分に活かし、地域のお客様に愛される店舗としてますます存在感を増していくことでしょう。



洗浄ピットと、下部洗浄装置を組み合わせた門型洗車機“ジスペクト”。
ニーズの高い洗浄サービスにも注力

神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社 港北支店

神奈川県横浜市都筑区東方町1-1
TEL 045-473-3200

知りたい!
元気な工場の秘密

■オープン日: 2013年10月7日(月)移転・新設オープン

■従業員数: 32名(全サービス23名うちメカニック14名)

■店舗概要: 同社の川崎支店が移転し神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社港北支店(以下港北支店)が誕生しました。港北支店の三菱ふそう車保有は約6,000台です。バス・トラックに限定した年間車検入庫台数が1,600台、一般整備・外注・板金7,000台、計8,600台の入庫を設定しています。

既に競合他社3社が進出している地域でもあります。その分設備の充実や顧客へのアランス・サポートに工夫があり、満を持して登場した注目の工場と言えるでしょう。



支店長
杉山 博美様



次長兼 工場長
志賀 健一様



新エリアでパワーアップ! 充実した設備と柔軟なサポートで満を持して登場した注目工場!

■ライバル不在の川崎支店から競合ひしめく港北支店へ

オープンした港北支店周辺は既に競合他社3社が進出しています。その中でも移転を決断したのは、やはり将来性の高さがあったからです。移転前の川崎支店と比較して商圈エリアが実質1.3倍になり、東名高速道路や第三京浜道路、また、現在建設中の横浜環状北線、北西線などが縦横に貫く「物流の動脈」の中にあります。

「まず当社の存在をアランスメントしていくことが課題です。距離の問題で川崎支店まで行けずにいたふうなお客様を今回の移転により、呼びこむことが可能になりました。そして港北支店の存在感をアピ

ールすると同時に、他社銘柄車の入庫も促してきます。実際に当社のクルマでも競合工場に入庫している事例もあります」(杉山支店長)。

移転後のPR活動は主に販売スタッフ、サービス営業、部品・外販スタッフの8名が行います。

■新車も車検もサービスも! さながら“なんでも屋”的な営業体制

神奈川三菱ふそうは各部署の枠に囚われない“総合営業”に特長があります。

「例えば新車販売の営業担当が車検を管理することもあるれば、サービス営業が新車説明、中古車、保険勧説を行うこともあるとい

うことです。各担当の垣根なく専門外の分野の営業もできる、いわゆる“なんでも屋”的な体制ですね」(杉山支店長)。

この体制によってお客様の要望に対しても、部門を越えてフレキシブルに応えることが可能になります。これもお客様の心をつかむ工夫の一つです。

■移転に合わせて設備もパワーアップ

工場は14ストールに検査ライン、洗車場のレイアウトです。移転前の

川崎支店と比較し、設備も大幅に充実しています。

まず、車検ラインには運転席に座ったままブレーキ、スピード、ヘッドライトなどの結果を、電波リモコンを使用し、液晶モニターを見ながら確認できる“トータル車検ラインシステム ラインマスター”および“Maintec”を導入しました。「このシステムは手書きのわざわしさをなくし、省人力化に寄与していると言えるでしょう」(志賀工場長)。

ヘッドライトテスターは“画像処理方式全自動ヘッドライトテスター”を使用。現場の検査員からは測定結果が自動で表示され、時間短縮

になっているとのことでした。

また導入したリフトのそれぞれの使い分けについてお話を伺いました。

“ツインパワーリフト”は30t用と12t用の2柱式を合わせて7基導入し、車両重量によってリフトを

変えています。“フロアリフト”も2分割(12m)と分割なしの標準タイプ(8m)の2基を設置。ピット内に降りれば立ったままの姿勢で下回り作業を簡単にできるので足回りの点検、オイル交換に重宝しています。

■新天地で活きるノウハウ

港北支店への移転により保有母体は増加、商圈も1.3倍に拡大しましたが、同時にライバルも増え、顧客を獲得していくのに決して容易い環境とは言えないでしょう。その点について支店長と工場長に抵抗はなかったかと尋ねましたが、「将来性のある地に行くのは企業の成長を考えれば当たり前」とお二人ともまっすぐにお答えになられました。

その姿勢は、設備投資は勿論、工場や、お客様をトータルにサポートする総合営業など、これまで積み上げてきたノウハウがあつこそではないでしょうか。港北支店にとって2014年は飛躍向上の一年になりそうです。